

製品名: リン酸化 CaMKII (Thr305) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00792**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 54 kDa; Observed MW: 54 kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMK2A CAMK2A; CAMKA; KIAA0968; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit alpha; CaM kinase II subunit alpha; CaMK-II subunit alpha; CAMK2B; CAM2; CAMK2; CAMKB; Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit beta; Ca
別名	
遺伝子 ID	815/816/817
SwissProt ID	Q9UQM7/Q13554/Q13557
免疫原	抗血清は、Thr305 のリン酸化部位周辺のヒト CaMK2 α / β / δ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

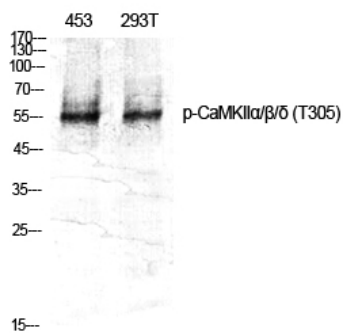
背景

CaM キナーゼ II (CAMK2) は、中枢神経系における主要なキナーゼであり、長期増強および神経伝達物質の放出に関与している可能性がある。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体の構成因子であり、AMPA の NMDAR 依存性増強およびシナプス可塑性を制御する可能性がある。

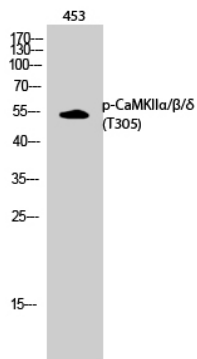
研究分野

神経科学

画像データ



リン酸化 CaMKII (Thr305) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 CaMKII (Thr305) のウエスタンブロット分析。



Phospho-CaMKIIα/β/δ (T305) 抗体を使用した 453 溶解物中の Phospho-CaMKII (Thr305) のウエスタンブロット分析。